

検証保育・検証授業2 久高友弥 教諭（与那原町立与那原東小学校）

去る1月21日(木)に、後期教育研究員の久高友弥教諭の検証授業を与那原町立与那原東小学校で行ないました。

久高友弥教諭の小学校6年国語の検証授業では、「読むこと」の領域において、単元を貫く言語活動として、「自分のめざすプロの生き方を紹介して、考えを広げ、深めよう!!!」を位置づけ取り組んだ全10時間の最終時の授業でした。自分が選んだプロフェッショナルの生き方を、「仕事内容」、「仕事に就いたきっかけ」、「失敗や困難に直面した時の考えや行動」、「その人にとっての仕事に対する考え方、生き方」、「資料を読んで自分はどうか考えたか」の順序で書き進めることのできるワークシートを仕上げた上での迎えた交流会。違う職種との交流を行うことが出来るようにグループ編成にも工夫が見られ、付箋紙を活用しての意見の交流が行われました。付箋紙にアドバイスを書くそのスピードと一生懸命さに、日頃の「書くこと」の指導の積み重ねも感じることが出来る授業となりました。

また、教室には、子ども達が多くプロにふれられるように、並行読書用に県立図書館から借用した多くの本が並べられ、久高先生の用意周到な資料準備に感嘆しました。

指導講師の城田モト子先生(北丘小学校)からは、「校内の図書資料だけでは足りない部分を県立の図書館からも貸し出しての準備が素晴らしい。資料の準備で進行表、付けたい力の掲示、モデルをしっかりと示している。子ども達の学習規律が確立しており、学びの姿勢が整っている。「書くこと」に抵抗感がなく、書く量も充実していることは日頃の積み重ねが成果として表れている」との良かったことをお話してくださいました。また、「どんな風に広がったの深めたのということがより具体的な提示が必要だった。自分の考えを明確にするために根拠をしめさせる手立てがあると良かった。ワークシートの中に自分の考えとの同意点や相違点を書きださせる部分があるとよかった。並行読書の読取りで、単元でつけた力が生かされているか。単元の振り返りの終末の中で、子どもの変容が見える書き込みに基づいた全体交流ができる時間を設定してほしかった。」等が課題として挙げられました。

金城勲校長先生をはじめ、与那原東小学校の先生方が熱心に授業参観なされていました。全校体制で久高先生の研究を支えてくださっていることが感じられる検証授業でした。連携推進大学の琉球大学からも、学生が10名参加してくださいました。

検証保育・検証授業は、来週の1月29日まで順次実施していきます。

【研究テーマ】

〈小学校国語〉

自分の考えを広げたり、深めたりする学習指導の工夫
～「読むこと」における単元を貫く言語活動を通して～

【研究仮説】

「読むこと」の領域において、次のような指導の工夫により考えを広げたり、深めたりすることができるであろう。

- ① 単元を貫く言語活動を位置づけ、学習過程や活動の目的を明確にし、児童が教科書教材や自分の選んだ資料を主体的に読むことにより、考えを広げたり、深めたりすることができる。
- ② 並行読書で様々な文章を比べて読むことで、多様な見方や価値観、表現方法に触れ、さらに相互交流を通すことで考えを広げたり、深めたりできる。

検証授業を終えて(久高友弥 教諭)

今日は、ついに自分の検証授業の本番でした。前時で、何も考えないでアドバイスを書いていた子がいたので、事前にちょっと話をし、たくさんふせん紙を書いてあげているのはとてもいいことなんだけど、「ヒントってどんなこと?」、「アドバイスを読んでもあまり意味がなかったみたいよ」などと話をすると本人は納得していました。さらに、後で、モト子先生からもその子の名前が出てほめられていました。ということは、その指導をもっと全員の前でやれば子ども達も自分の思考を深めることができたと思います。あと、単元の振り返りでは、「みんなにとって本当のプロってどんな人?」と投げかけて単元の感想を書かせようかと考えていましたが、子どもに変容を意識させるための指示の仕方など、もっと成長していかないとはいえないと思いました。僕が何かをする授業ではないので、今日はほとんど子どもが活動する学習内容なのであまり緊張はしなかったです。

最後の「成人式の話」は、思いつきではありましたが、「目標を持ち、そのために何かを努力し続けている人」になって欲しいと考えてました。時期的にちょうど、ぴったりのことだと思ったのですが…

検証授業参観後の琉球大学生の感想（授業参観シートから）

- 交流会の仕方（流れ）を黒板に提示して見通しを持たせていました。
- 何の為に書くのかを意識させる声かけが、何をかいていいかよく分らない子への指標となると思いました。
- 付箋紙に書くことで、その場で思ったことを書けるし、もらった子も自分の考えを再確認することができ、自分の変容に気付くことができていました。
- グループ学習で意見をもらった後、時間をもてあましているグループもあったので、意見をもらって、気付いたこと、自分のすごいところ、質問に答える時間を設けても良かったのではないかと思います。
- 職業から自分の目指すプロをイメージさせ、自分がすべきことを考えさせることができたと思います。
- 聞く側の態度がアドバイスに影響すると思いました。
- 子どもの考えをひきだすように、「もっとどんな仕事を頑張ったら良いの？と聞いてご覧」とより広げる発問を行っていました。何よりも笑顔が優しさに溢れていました。



写真1 検証授業の様子①



写真2 検証授業の様子②



写真3 検証授業研究会



写真4 検証授業を参観した琉大生

来週の検証保育・検証授業予定

- 中学校理科 波照間生子教諭（大里中学校） 1月27日（水）9:30～10:20
- 幼児教育 上原亜矢教諭（北丘幼稚園） 1月29日（金）9:30～10:30